

【観光バス運行会社の方へ】安全・避難ガイド

【基本方針】「なんとしても人命を守る」を最優先とし、津波警報等の発令時には迅速に階上中学校方面の高台への立ち退き避難を開始する。

① 緊急閉館、避難の判断基準とタイミング

- **大津波警報・津波警報**：直ちにバスによる避難を開始する。目標は地震発生から 24 分以内の避難完了とする。
- **震度 5 弱以上**または**津波注意報**：警戒体制に入り、情報の収集とバス乗務員への事前連絡を行う。施設は緊急閉館になる為、バスに乗り安全な場所へ移動を開始する。

② 避難場所

- **指定避難場所**：気仙沼市立階上中学校（住所：気仙沼市長磯中原 125）方面の高台



- ①遺構・伝承館正面の道路を右折
- ②岩井崎（いわいさき）入口交差点を直進
- ③ピンクの浸水区域ゾーン外に出る

③ 運行管理フロー

1. **安全確保**：揺れが収まるまで、乗客・乗務員は安全確保。伝承館正面口（玄関前）にて、いつでも発車できる態勢を維持する。
2. **情報共有**：施設スタッフと連携し、津波警報等の内容と避難先を乗務員に伝える。その際乗務員には「地震・津波警報が発表されたら！乗務員アクションシート」をチラシ化したものを配布し説明する。
3. **避難誘導**：駐車場内の混乱を防ぐため、スタッフの指示に従い順次発車させる。
4. **渋滞時の対応**：移動中に渋滞が発生し、避難が間に合わない判断した場合は、バスを道路左端に寄せ、鍵をつけたまま、乗客とともに高台（徒歩避難）へ切り替える。

地震・津波警報が発表されたら！乗務員アクションシート

STEP 1 : まずは身の安全確保（揺れが収まるまで）

- 揺れが収まるまでは乗客・乗務員の安全確保が最優先
- エンジンとは切らない！ すぐに動ける態勢をとる。

STEP 2：情報の確認（揺れが収まったら）

- ・ 防災無線、またはラジオ等で津波警報等の有無を確認する。
- ・ 伝承館正面口（玄関前）にバスを移動し、施設スタッフから避難指示があった場合、速やかに従う。

STEP 3 : 避難開始 (バスで移動)

- ・ 避難先：階上（はしかみ）中学校（約 2,000m / 車で約 5 分）方面の高台
- ・ 避難ルート：



- ①遺構・伝承館正面の道路を右折
- ②岩井崎（いわいさき）入口交差点を直進
- ③ピンクの浸水区域ゾーン外に出る

- 乗客に「津波の恐れがあるため、バスで安全な場所まで避難します」と伝える。

STEP 4 : もし渋滞にはまったら（徒歩避難への切り替え）

- 津波の到達時間が迫り、車での移動が困難な場合：
 1. バスを左側に寄せ、サイドブレーキをかける。
 2. 車の鍵はつけたままにする（救急車等の通行の邪魔な時に移動させるため）
 3. ドアはロックせず、窓を閉めて、乗客とともに指定避難場所へ徒歩で避難する